

2022年度 特別研修会のご案内

関東・関西

募集開始日：2022年4月20日（水）

T03

「企業若手知的財産要員育成研修」 ～相互学習を通じて社外人材交流の場を提供～

関東申込コード：T03-T1

関西申込コード：T03-K1

概要

企業においては、知的財産管理を担う若手を早期に育成することが肝要です。知的財産部門に配属された若手は、知財知識を様々な研修や実務体験を通して習得する機会がありますが、議論を通じて身につける機会は乏しい傾向にあります。一方、若い頃に取り組んだ業務が、業務の進め方や考え方において、後々まで貴重な財産になっていることは誰しも体験していることだと思います。

そこで、本研修では、特に企業若手知的財産要員を対象に、当協会の専門委員会と共同で社外の同レベルの実務経験を持つメンバーが集まる場を提供し、研究課題に対し参加者が相互学習により調査・研究・発表などの実践を行い、「学び方」を学ぶことを狙いとしております。具体的には、以下の通りです。

1. 専門委員会から提示された実践的かつ高度な研究課題に対してグループで研究することにより、企画力や実行力を培い、新たな研究課題への問題解決の手法を体得します。
2. 講師の指導や相互学習を通して他人の専門性レベルを知り、自己啓発課題、知財専門性以外のプレゼンテーション力、傾聴力、衆知や情報の収集力等への気付き（探索）の場とします。
3. 異なる企業の参加者とのグループ学習・調査・研究・ディスカッション等を通して、社外との人材交流の機会とします。

そして、このための研修を、少人数のグループ編成により、（詳細は、第2頁参照）

- 1) 研修参加者は、「国内特許関係」、「ライセンス関係」および「海外関係」の3つの研究分野から希望の研究分野を選択する。（実務経験がない研究分野も選択可。）
- 2) 研究分野毎にグループを編成し、研究分野毎に提示された研究課題の中から、研究課題を1つ選択する。（6名/Gとし、関東4Gと関西3Gの予定。事務局がグループ編成。）
- 3) グループ毎の自主研修により、研究課題の調査、研究、討論を行い、提言を盛り込んだグループ成果報告書及び個人成果報告書をまとめる。
※グループごとの自主研修を行う前に、各自が検討を行う時間が必要となります。
- 4) 成果報告会を行い、講師や研修参加者と意見交換や討議を行う。

の通り進めていきます。

この研修を通じ、今後の知的財産業界或いは各企業における知的財産部門の中核を担う人材が育成されることを願い、奮ってご参加下さるようお願いいたします。

研修の概要

1. 会場

【関東】 (一社)日本知的財産協会 東京事務所 会議室

【関西】 (一社)日本知的財産協会 関西事務所 会議室

* 第2回のグループ研究課題の解説、第4回の中間成果報告会と第7回の成果報告会は関東・関西合同とし、東京の(一社)日本知的財産協会会議室で行います。

* 感染症対策等により、研修の一部または全てがオンライン研修となる可能性がありますので、予めお含みおき願います。

2. 研修日程・研修内容

回	関東	関西	研修内容
1	7/12 (火) 午後	7/15 (金) 午後	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション：開講の趣旨と研修の進め方の説明 ・ 講義：知的財産要員の今日的課題 【講師】日本知的財産協会専務理事 ・ グループ討議：グループ研究課題の選択、役割分担等 ・ 懇談会
2	9/21 (水) 午後 (※)		<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ研究課題の解説 【講師】専門委員会派遣講師 ・ グループ討議
3	10/12 (水) 午後	10/11 (火) 午後	<研究課題に対する自主研修> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ討議：研修生による研究課題検討 ・ 活動報告書作成
4	11/25 (金) 11時 (予定) ~ (※) 17時~ 懇談会		<中間成果報告会 (関東・関西合同) > <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究課題についてグループ毎に進捗状況報告と全体討議 【講評】専門委員会派遣講師他 ・ 懇談会
5	12/7 (水) 午後	12/6 (火) 午後	<研究課題に対する自主研修> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ討議：研修生による研究課題検討 ・ 活動報告書作成
6	1/16 (月) 午後	1/17 (火) 午後	
7	2/20 (月) 10時 (予定) ~ (※) 17時~ 懇談会		<成果報告会 (関東・関西合同) > <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究課題についてグループ毎に成果報告、個人成果報告、質疑応答、全体討議 【講評】専門委員会派遣講師他 【統括講評】日本知的財産協会役員 ・ 懇談会

“午後”の開催時間：13時30分～16時30分の予定です。但し懇談会を除く。

※ 第2回のグループ研究課題の解説、第4回の中間成果報告会及び第7回の成果報告会は、グループ数によって開始時間に変更になる場合があります。

※ 新型コロナウイルスの感染状況により、懇談会を中止させていただく場合があります。

3. 研究分野毎の研究課題

<p>研究分野</p> <p>* 受講者詳細情報に 希望順位をご登録下さい。</p>	<p>2022年度 研究課題について</p> <p>* 2022年度研究課題は、初回のグループ討議の中で、以下のテーマに沿った研究課題が専門委員会から提示されますので、選択していただきます。 (以下のテーマに沿った課題以外の研究課題が提示される場合もあります。)</p>
<p>1. 国内特許関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 逆転判決から学ぶ審判実務の調査検討 ・ 数値限定発明の記載不備に関する調査検討
<p>2. ライセンス関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘密保持契約に関する検討 ・ 共同研究開発契約に関する検討
<p>3. 海外関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PCT国際段階での調査・見解に関する研究 ・ ASEAN-6において、気になる特許を見つけた場合の対抗手段とは？ 特許が無効とされるべき旨の攻撃を受けた場合の防衛手段とは？

※例年、参加者による活発なグループ討議が行われているため、グループによっては、JIPAが設定している研修日以外の日にも、自主的に集まって討議が行われる場合があります。

- 受講者の声
- ・ 普段の業務ではあまり触れない判例や参考資料を読む機会を得ることができ、進歩性に対する理解が深まった（国内特許）
 - ・ 共同開発契約に関して、他業種の方の意見を聞くことができ、大変参考になった（ライセンス）
 - ・ 海外の判決の検索や翻訳など、普段の業務では行えない貴重な経験をすることができた（海外）
 - ・ 他社の方々と、限られた時間で、うまく議論を進行させ、妥当な結論へと着地させることについて学ぶ点が多かった
 - ・ 同年代のメンバーと、普段の知財業務における悩みが共有できた

申込要領

1. 募集定員：関東：24名程度、関西：18名程度
2. 受講対象者：
企業の若手知的財産実務担当者で、実務経験歴3年経過程度（25歳～35歳程度）
3. 受講料：60,000円（消費税込）
4. 締切日：2022年6月3日（金）
※募集定員に達した場合は、締切日前であっても募集を締め切る場合があります。
※締切日以降のキャンセルはできませんのでご注意ください。
5. 申込方法：（①協会研修会サービスでの申込+②受講者詳細情報登録）
 - ① 協会研修会サービスにて申込をして下さい。
関東申込コード：T03-T1 **関西申込コード：T03-K1**
 - ・特別研修（T01、T02、T03、T04）への申込は、受講者1名毎に完了して下さい。
 - ・会員会員事務担当者（お申込担当者）、受講者宛に申込確認メールが送信されます。※開催地区をお間違えないようご注意ください。
 - ② 受講者詳細情報をご登録下さい。
協会研修会サービスより受講者詳細情報をご登録下さい（“申込内容の確認・変更”より受講者本人が登録できます）。
※ご登録頂いた個人情報は、出欠簿及び受講者名簿、研修統計データとして使用します。
※操作方法は、協会ホームページの「協会研修会サービスご利用ガイド」をご覧ください。
6. 受講票：
初回開講日2週間前までに会員事務担当者（お申込担当者）、受講者宛にメール配信いたします。
※万が一受領できなかった場合は、協会研修会サービスよりダウンロード下さい。
7. 請求書：
7月末頃に会員代表者宛に郵送いたしますので、請求月の翌々月末までにお振込下さい。
8. 問合せ先：
一般社団法人日本知的財産協会 人材育成グループ（tokubetsu@jipa.or.jp）